

自走式潜水吸引トラクター（実験機）によるアオサ回収試験結果

平成17年11月24日
千葉県農林水産部水産局漁業資源課

【目的】

三番瀬をより良い漁場として再生するため設置された「三番瀬漁場再生検討委員会」から、アサリ漁業やノリ養殖業に支障を来たすアオサ対策として、自走式潜水吸引トラクターによるアオサ回収試験に取り組むべきとの提言がありました。

この提言を受けて、県ではこの度、自走式潜水吸引トラクター（実験機）によるアオサの回収試験を行ない、導入の可能性を検討することとしました。

【自走式潜水吸引トラクターの特徴】

- 1．動力は圧搾空気、水深の浅い・深いに関わらず走行が可能です。
また、万が一の場合でも油の流出などで海を汚染する心配がありません。
- 2．台船上に設置したポンプで、トラクターに装着した吸引口から、アオサを吸引回収します。
- 3．本体は、長さ1.5m、幅1.7m、高さ0.7m、空中重量300kg、水中重量200kgです。

【回収装置】右面参照

【回収結果】

試験日時：平成17年11月9日（水）午前10時30分～11時10分

試験結果：市川市塩浜 市川市行徳漁業協同組合事務所地先海面

結果概要：トラクターの走行性能は問題がないことが確認されました。
回収試験は約10分実施したところ、回収量は約22kgでした。

アオサを吸引するポンプの能力には問題がありませんでしたが、アオサが装置前面の取入口に大量に絡んでいる様子が観察されました。

このことから、大部分のアオサが取入口に絡んで留まり、吸引口まで達しなかったものと推定されましたので、取入口の形状や、材質をアオサが絡みにくく改良する必要があると考えられました。

【今後の方針】

今後は、今回の実験結果を踏まえ、回収装置の改良を進め、早期実用化を図ってまいります。



自走式潜水吸引トラクター



トラクター引き上げ時の様子